

【学術情報】

## 日本ワインコンクール (Japan Wine Competition) 2021の中止について

恩田 匠<sup>1\*</sup>・功刀智之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山梨県産業技術センター 〒409-1316 山梨県甲州市勝沼町勝沼2517

<sup>2</sup>山梨県産業労働部産業振興課 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

### About the Cancellation of Japan Wine Competition 2021

Takumi ONDA<sup>1\*</sup> and Tomoyuki KUNUGI<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Yamanashi Industrial Technology Center

2517, Katsunuma, Katsunuma-cho, Koshu-shi, 409-1316, JAPAN

<sup>2</sup>Industry Promotion Division, Industry and Labor Department, Yamanashi Prefectural Government

1-6-1, Marunouchi, Kofu-shi, Yamanashi, 400-8501, JAPAN

「日本ワインコンクール」は、2003（平成15）年度に第1回が開催された（2015年に「国産ワインコンクール」から改称）。国産原料ぶどう100%を用いたワインを対象として、「競争原理」を導入した我が国初めてのコンクールである。

本コンクールの目的は、「国産原料ぶどうを100%使用した日本ワインの品質と認知度の向上を図るとともに、それぞれの産地のイメージと日本ワインの個性や地位を高めるため」に開催されるものとされている。

昨年度、第18回目として開催を計画した2020年度のコンクール（JWC2020）は、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の拡大の影響を受けて、その18年に及ぶ歴史の中で初めて「中止」となった。

本年度、開催を計画した2021年度のコンクール（JWC2021）も、昨年度と同様に、中止となったことについて報告する。

JWC2021は、当初、審査会を6月30日（水）～7

月1日（木）に、山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨（甲府市大津町2192-8）を会場として開催される予定であった。本日程は、昨年度と同様に、東京オリンピック2020大会の影響を回避するために、例年よりも2週間程度早く設定された。表彰式および一般公開は8月22日（日）にホテル談露館（甲府市丸の内1-19-16）で開催される予定であった。

日本ワインコンクール実行委員会（奥田徹会長）は、新型コロナウイルス感染症が完全には終息していないと予想される状況の中での開催方法について、協議を繰り返した。すなわち、2021年2月の時点までに、外国人審査員の招聘が現実的に不可能であると判断し、日本人審査員のみによる体制を整えた。また、感染防止に配慮した審査会の運営方法、例えば運営スタッフに対してはワインのサーブ方法からその廃棄方法まで、さらに審査員に対しても審査作法などを細かく考案した。

しかしながら、感染力の強い変異株ウイルスの猛威により、我が国では2021年3月下旬から、4回目の感染流行の拡大（いわゆる「第4波」）が起り、東京都などに緊急事態宣言が発令された。この感染

\* Corresponding author (e-mail: onda-wkk@pref.yamanashi.lg.jp)

拡大の勢いの中、あらためて延期も含めた開催の可否について、オンラインでの会議を繰り返した。最終的には、コンクール開催にあたっての関係者の健康と安全を確保することが困難であること、また延期が困難であることなどを総合的に判断して、中止を決定し、2021年5月11日（火）に告知を行った。

来年度こそは、新型コロナウイルス感染症が終息し、無事に開催できることを心から祈りたい。